



マスコットキャラクター
「とみくん」

教育目標 「進んで学び 豊かな心で やりぬく子」

とみおか

<http://www.tomioka.jorne.ed.jp/>

E-mail: tomioka@jorne.or.jp

令和6年12月20日
上越市立富岡小学校
学校だより No. 8

TEL:025-523-2843

2学期を振り返って 子どもの心に残ったこと

8月29日からの80日間の2学期が終わろうとしています。そこで、全校の子どもたちに2学期を振り返って「一番心に残っていること」を聞いてみました。学年ごとに、特に多かったものを紹介します。

☆1年生「やぎさんとの生活」

- ・やぎさんの小屋そうじ
- ・ふれあいランドをみんなでつくったこと
- ・やぎさんと金谷山や富岡保育園に行ったこと
- ・文化祭でやぎさんのことを発表したこと

1年生は、9月5日から12月11日まで2頭の子やぎ（めぐりちゃん、むすびちゃん）と過ごしました。1年生にとって、やぎさんとの思い出はどれも楽しかったようです。生活科での動物とのかかわりを通して、相手の気持ちになって考えたり、みんなで協力し合ったりしました。



☆2年生「畑での野菜づくり、PTCでの調理」

- ・野菜を育てて、収穫したこと
- ・PTCでうちのひとと野菜を料理して食べたこと
- （他に、マラソン大会や体育など）

2年生は、1学期に引き続き生活科で野菜を育ててきました。9月～10月は、まだミニトマトやピーマンなどの夏野菜が収穫できました。その後、さつまいもや大根、かぶなどの秋冬野菜を育てて収穫しました。その野菜を使い、うちのひとと豚汁などをつくって食べました。それらの体験を通して、季節の変化や自然の豊かさを実感しました。



☆3年生「文化祭、PTCでのケーキづくり」

- ・文化祭でみんなで劇をつくったこと
- ・文化祭の体験活動
- ・PTCで親子でケーキを作ったこと
- （他に、マラソン大会やドッジボール大会など）

3年生は、うちのひとや仲間と一緒に活動したことが特に心に残っているようです。ケーキ作りや劇、そしてマラソン大会と、どれも「大変だったけれどみんなががんばったから」という理由が多かったです。仲間とやり遂げることの大切さにも気付いた2学期でした。



☆4年生「文化祭、ペットボトルキャップ回収活動、マラソン大会」

- ・みんなで協力して劇を作って文化祭で発表したこと
 - ・マラソン大会で頑張って走ってタイムが速くなったこと
 - ・大変だったペットボトルキャップの回収活動
- (他に、壁新聞づくり、跳び箱、鉄棒など)

4年生は、心に残った理由として、「協力」という言葉をあげている子どもが多くいました。また、「がんばったから」「できなかったことができるようになったから」という理由もあり、自分自身の努力や成長を見つめることにつながった2学期でした。



☆5年生「お米づくり、文化祭」

- ・暑い中、稲刈りをしたこと
 - ・苦勞してお米を販売したこと
 - ・文化祭での学習発表、金管演奏
- (他に、マラソン大会やハロウィン集会)

5年生は、米作りや収穫した米の販売活動に初めて挑戦しました。米作りの大変さとともに、収穫の喜びも実感できたようです。大勢のお客さんの前で緊張しながらも練習の成果を発揮できた文化祭での金管演奏も思い出として心に残ったようです。



☆6年生「歌って踊って何でも大会、金管演奏」

- ・6年生全員と担任の先生でダンスを披露したこと
 - ・文化祭で最後の金管演奏ができたこと
- (他に、漢字テスト、調理実習、本を一冊読み切ったこと)

6年生は、校内で開催した「歌って踊って何でも大会」に担任も含め、クラス全員で参加しました。そして、ステージでダンスを披露し、会場を盛り上げました。また、6年生にとっても富岡小にとっても最後となった金管演奏を成功させることができたことも思い出の一つとなったようです。



日々、様々なできごとがある中で、時間が経っても忘れないで心に残っていることには、何かしら要因があると思います。例えば、「とても楽しかった」「はじめてできた」「うれしかった」「大変だった」「がんばった」などです。子どもによっても心に残ったことの原因は様々ですが、共通するのは、自分から何か考えたり、行動したりして、心が動いた体験ではないかと思います。3学期の教育活動も、子どもの心が動くワクワクするものになるよう工夫していきます。

もう少しで2学期、そして2024年が終わろうとしています。全校95名の子どもたちを温かく見守ってくださった保護者や地域の皆様方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

学校は、12月25日から1月7日まで冬休みとなります。2学期のお子さんの努力と成長をぜひ褒めていただくとともに、新年を新たな気持ちで迎えられますようご支援をよろしくお願い申し上げます。どうぞよいお年をお迎えください。

「決めつけ」はよくない

～人権教育、同和教育より～

12月6日の学習参観において、全学年で人権教育、同和教育に関する授業を行いました。授業では、各学年の発達に応じた資料を基に、偏見や差別について考えました。その過程において多くの学年で「決めつけ」というワードが出てきました。「決めつけることはよくない」と子どもは話していましたが、いじめ問題も「決めつけ」が要因の一つとなっていると考えます。「あの人はいじわるだから」「あの子はどうせできない」「〇〇さんは、こういう人だ」といった一方的な見方や強い思い込み、つまり『決めつけ』が偏見や差別、そしていじめにもつながるという認識を再確認したいと思います。

多様性（ダイバーシティ）が重要視される時代です。人権教育や同和教育の充実はもちろんのこと、日々の授業や教育活動においても、個を大事にする豊かな人権感覚を養っていきます。

いじめノックアウト宣言

～いじめ見逃しゼロ集会より～

12月12日に全校で「いじめ見逃しゼロ集会」を生活環境委員会の進行で行いました。集会のねらいは、児童一人一人の「いじめをしない、させない、見逃さない」という意識を高めるとともに、全校でそれを共有することです。

集会では、各学年の代表が自分の「いじめノックアウト宣言」を発表しました。代表児童だけではなく、全校児童が「いじめをしない、させない、見逃さない」ために、どんなことをしていくかを決め、それを紙に書いて実践しています。



【子どもが決めた『いじめノックアウト宣言』】

- ・ にこにこしながらあいさつをする。
- ・ やさしいことば（ありがとう・いっしょにあそぼう）をつかう。
- ・ 言葉づかいに気をつけて、言われたことをすぐに受けとめる。
- ・ 決まった人だけではなく、毎日いろいろな人に声をかける。
- ・ だれかが話しているとき、無視をしないでちゃんと反応する。
- ・ 悪口に聞こえるようなことは言わない。
- ・ 一人でいる友達がいたら声をかけてみる。
- ・ 遊んでいてけんかになったら先にあやまる。
- ・ いけないことをしている人に注意する。



どの宣言も「当たり前」のことに思うかもしれませんが、しかし、当たりの前のことが実はとても重要だと考えます。挨拶や言葉遣い、声掛けや反応は、日常的なコミュニケーションの一つであり、一日に何度も行うものです。その一つ一つの積み重ねが良好な人間関係を築いていくことにつながります。ただし、そうは言っても人間なので、時に気分が悪かったり、苛々したりして、それが表情や言動についてしまうこともあるでしょう。その時は、子どもの宣言にもありますが、「謝る」ことも大事ではないでしょうか。また、周りや近くの人が「注意する」ことも大事なことだと思います。いじめゼロはもちろんのこと、いじめ**見逃しゼロ**を全校で強く意識し、今後もみんなで温かい富岡小学校をつくっていきたいと思います。

1月の主な行事予定



- 8日(水) 3学期始業式 *給食なし
- 9日(木) 全校5限後下校、校内書き初め会、
生活リズムチャレンジ週間(～1/16)
- 10日(金) 全校5限後下校、発育測定、防犯ブザーチェック
学校訪問カウンセラー来校日
- 14日(火) 校内書初め展(～1/24)、スマイルタイム
- 15日(水) 全校iPad持ち帰り日、心のアンケート
- 16日(木) 委員会活動
- 20日(月) 給食週間(～1/24)
- 23日(木) 全校5限後下校、給食クイズラリー(放送給食委員会)
- 24日(金) スキー教室(3～6年) *妙高ルンルンスキー場
- 30日(木) 委員会活動

富岡小学校
ホームページ
QRコード



学校だよりも
カラーでご覧いた
できます。

～お知らせとお願い～

- お子さんの命にかかわること(交通事故や急な病気やけがによる入院や手術など)の緊急連絡は、以下のとおりお願いします。
 - ・土日や祝日、学校閉庁日(12月28日～1月5日)は、市教委緊急電話(080-2371-XXXX)にご連絡ください。(12月28日～1月5日は学校無人化になります)
- ※ 学校および市教委の緊急電話は、通話のみの使用です。メール等は使用できません。
- 冬期間は、体育館屋根の落雪等により駐車場が大変狭くなります。校地内に乗り入れる際は、十分ご注意ください。
- 1月24日にスキー教室(3～6年)、2月に全学年でスケート教室を予定しています。保護者の皆様からもボランティアとしてご協力をぜひお願いいたします。